

バストス週報

第二百六十五号
昭和三十年
五月六日
発行
DIRETOR
KOITI MORI
REDADOR
SHION ODA
REDAÇÃO
RUA PRES.
VARGAS 188
C. P. 112
BASTOS
誌代
一ヶ月
80¢00

無題 金のいる話

過日本誌二六二号二六三号にわたり
師範学校強化について愚見を述べま
したが、書き足りない個所があります
ので、少しく補遺させていたゞきます。

土地の所有権は？

各セツソンにある二十畝宛の土地は小
学校基本財産として、それを譲渡される
建前で、フラ拓から後りに貰うてはいるが
まだ所有権がうつつていないわけではあり
ません。
これは移住地移管が完成される時は
じめて達成される性質のもので、それ迄
は勝手に利用してはいるが、病院な
どの建物をたゞで使つてはよろしいとい
うのと、同取扱いで、所有権はフラ拓にある
のです。移管については、次の事情を私共
は知つて居ります。

移住地移管フラ拓構想の懐古

フラ拓が移管しようとする相手は移住
地を最も大きく代表する機関であつて、最
初はバストス自治会がその候補のようであ
りました。その頃戦前の事ですが、バス
トス産業組合が漸次大きくなり、経済団
体としての力も一応安心の出来る処まで
のびて来たので、産組がその候補となる可
能性も強くなりました。そこで一そのこ
と、バストス在任者を農家と商家との別
なく組合に加入せしめて二元的を討ち、の
福根をも無くし、産組一本立てとしてこ
れを、もり育て、バストス移住地の残務整
理をさせたり、不動産の継承をもさせよ
うとの意見が、フラ拓内に強くなつて来
て、その指導のもとに自治会は、バストス産業
組合に併合されてしまひ、産組がフラ拓
移住地移管の唯一の候補者となりました。
これは、故郷山井作氏が自治会の会長で
あり、産組の組合長でもあつた関係が
併合をスムーズに成立させた力強い要素
となつたわけでも、別々な人が長であ
つたなら、多少の円着もあつたかと考へら
れます。

ご記憶の通り産組は移管完成を一期と
して、より大きく伸張する運命を予期し、
フラ拓は移住地事務所を、移管準備事務
所に切りかえて、双方歩みよりを示し、三
月の準備期間を二年足らず過ぎた頃、お


Alfaiataria Imperial
高級洋服
丸山洋服店



Wakamoto
生活の灯
今から約三十年前わかもとはわが國
最初の麥酒酵母剤として近代栄養薬
界に、不滅の光りを掲げました。
それは忽ち多くの模倣薬... また健
康法までも産み出しました。が、麥酒
酵母はやはりビール酵母、結局單
なる転用に過ぎず、進んで純薬用と
して一層有効、一層強力なる
新薬劑を求めて精進数年の
後、遂に生成し得たもの
即ち現わかもとの主劑...
Aspergillus 之大菌であり
これを以て酵母劑は其の
真価を極め得たのであります。



東京わかもと製薬株式会社
伯國總代理店 パウリスツ製薬
薬会社、中久保益太郎



い処で太平洋戦争が勃発してしまひま
した。伯國政府は強権を發動してフラ拓
に板こそが管理される事になつてしま
つた。か人びんの移管問題も遂に一頓座す
ることになりました。
大戦中はフラ拓も難儀をいたしました。産
組も一面保護されるかの様に見え、中々
うまく行かざせん。活動範圍は經濟面
に限り、ニホンジンカイ的の面はさ、ほり
封じられ、その外無懸念な天降
り或役人理事などが兼任して、産組經營
は放漫に流れるが、後日の危機を待たず
は幾多の禍根を作つたため、遂に昔日の
健全さを失うに到りました。
又、と大戦も終り、フラ拓は、どうや
ら政府の監督機構から解放されたものの、
満身創痍で、再び元のフラ拓として活動

開かれた窓々 3

昨年バストスへ来た

大宅 壯一氏

日系のコーヒー王

ブラジル農業の大宗はコーヒーで日本人の成功者もこの方面に多い。またコーヒー栽培の中心はサンパウロ州だが今はパラナ州の北部に移っている。北パラナではサンパウロに比して五倍の収益があるという。よくできる木は一本で一俵とれる。一俵は四十キログラムを精製すると三分の一になるが、その値段が約二セント(一万二千円)。日系のコーヒー王といわれる宮本邦彦氏(大分県出身)の一族は百六十万本も持っているし、高橋平氏(福岡県出身)は一人で六十万本も持っている。三本に一俵とれるとしても、半俵はとれにくいになるが、販賣方は自分で計算されたが、一昨年の地方は大霜害に見舞われたから、これがなかつたら、この日本人の間から狂者が続出したであろうといわれる位の大ブームである。

このあたりで講演会を聞くと会場の周囲は自家用車で埋まってしまふ。アサイ(元の名は朝思)という所へ行くと日本人の勢力が圧倒的で、ブラジル人の店も日本語の看板を出している。この所の日本人が昨年一年間に奥地の土地に投資した金は四五億に達するといわれている。これは反して日本人がもつとも早く入植したサンパウロ州のバストスは今はすつかりさびれて、スイカその他の野菜類をつくりで生活している。毎朝とうふ屋が鈴を鳴らして売って歩くというくらい日本そのまの姿をとどめていのがかえってわびしさを加えている。

(孫り曰く大宅先生のバストス観は、さびれて居る点は当っているが、スイカや野菜だけ見て養鶏養蚕を見逃がすとは、さきこえません。誰ぞが先生方を案内してまわったひとは?)

緑の地獄 アマゾン

問題はアマゾンである。日本では南米というとすぐアマゾンを連想し、天国のようだと宣伝されてきたが、私の見たところでは、緑の地獄とでもいうべきである。もつともアマゾンといつても全欧州に日本を半々スル加えたほどの広さで一概にはいえないが、なほかりが能ではない。その大部分がほとんど未開発のまま残されているのは、やはりそれだけの理由があるのである。三代目にはサルになる、という説をそ

移転御挨拶

私儀

長年の間、ボンブロン區に居住いたし皆様より一方ならぬ御厚誼をいただき居りました。此の度が家庭の都合上、アママンチーナへムンチナすることになり、本日出発致します。一々参上御言葉申上る者の処、その意を得ず失礼乍ら紙上を借りてお別れの御挨拶申上ります。万一アママンチーナ方面へ御出向きの節は、何卒御立寄り下さい。では御機嫌宜しく。

一九五五年五月二日
元、ボンブロン區
寺本 林次郎

各位

アママンチーナ市よりフルテンテ街道に添うシャカラです

のまま信じるわけではないけれど、その金が金にあかして開拓したベルレーラの園などに行つてみて到底日本人の手におえるものではないと思つた。第一土地そのものから採取するのはいが、耕して栽培したのでは採算がとれない。それに市場からあまりはなれず、よほど高価なものをつくらないと輸送費にくわれまらぬ。

まぎに監獄部屋

アママンチーナはブラジルの最重要國策の一つで、特に死んだウエルが大統領などには莫大な補助金を出して大いに奨励しているが、アママンチーナ自身はこれにのついて来ない。サンパウロ、パラナ州、ゴビエー労働者は、いまも農奴に近い条件で働いて居るが、かれらの大部分は北方からわかれやうつてくるのだけだ。アママンチーナへ行こうとしないのである。冥魂不滅を信じている日本人は特攻精神でやるたうといふので、職業的移民(その手先になつて)必要の準備もなしにジャンプをふくむ)が必要準備もなしにジャンプする人海戦術である。アママンチーナから出る補助金の大半は途中で消えて移民たちの手にはほんの一部しかわたりない。そしてその一部でももらつて居る為めに

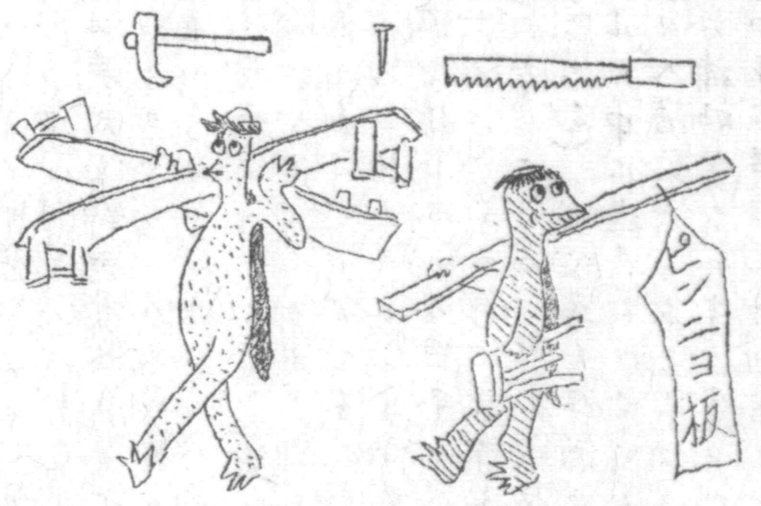
ブラジルの役人や移民会社の厳重な監督
下におかれ移動の自由が認められない。
マナウスに近しい新しい入植地では離れ
小島のようになつていて所へ出るには船
にのらなければならぬが、その船を移
ラジルの役人が押えていて約百家族の移
民部落で、一週間に七人しか外出を許さ
ない。度々出てゆくのは逃亡の恐れあ
りというので速捕命令が出た実例さえあ
る。まさに監獄部屋である。
リオネグレイロに近しいウナという植民
地では、すでに大半逃亡出してしまつた。
そして逃した方がいい生活をしてい
るのである。しかしアマソンの奥から日
本人の大勢いるサンパウロまでは東京の
ラシオンがポールほどの巨商で、かりに移動
の自由が認められたいとしても、その旅費を
かせぐのに何年かかかるのである。
アマソンの何年かかかるのである。
つて、奥地の移民たちはために訴えたの
であるが大使がいうには「かれらの旅券
はアマゾンへの入国を認めていないのであ
つてアマゾンとは書いてない」といふので
ラジルへ入りさえすればいいといふので
ある。しかしこういふ考え方は非常に危
険で、アマゾン政府の希望とはいへ、日
本人の住みつけないようなところにとし
て送りこみ、逃亡者が続出した場合に
どういふことになるか。大使よ、どうか
ゴルフをする暇をさいて、一度奥地へ行
つて移民生活の実態をつぶさに見てもら
いたい。

ものすごい胡椒ブーム

アマソンの日本人植民地で現在も、と
も呼ばれているのは、トメヤスのピメンタ景
気と呼ばれる新しいものである。
日本人が新種発見
この二三年前までなにも作つては輸送
費にくわれて見込みなく大部分逃し出し
てしまったのだが、加藤友治(山形出身)
氏によつてコシウの新い品種が発見さ
れた。今では七十戸ばかりの小部落で年
収十コト以上が十二、その中三人は二
千コトを超えたりする。
このコシウは特に豊産だとみえて
死後解剖すると、肝臓がとけてしまつて
いろどい、顔色が王虫のよりに紫色で
善怒哀樂に伴つて七色に変わるといふ人も
いる。しかし新しくこれに替かるといふ人も

この部落に最近日本から新しい移民が
七十家族ばかり入つた。旧移民とほとん
ど同数だが、両者の間に一種の対立的な空
気が發生してゐる。といふのは新移民の
給与は一日四十三ル(二百四十円)で、旧日
本のニコヨンにあたる。現地人労働者の
三十三ルに比べるといふ方が、アマゾンに
いふと、思わなかつたといふのだ。旧移民
にいわたせると自分たちは、もつと不利な
条件でスタートしたのだ。家が与えられ
食うことに事欠かぬだけでも有難いと思
はねばならぬ。今に経験を積み、土地を
与えられて、われわれの仲間入りができ
るのだから、それ迄辛棒せよといふのだ。
しかしコシウは値がはいといふので、裁
培面積が物すごい勢いで広がつてゐる。
新移民が一人前の農園主になつたころに
は恐らく値段が暴落するであらう。好景
の絶頂にある現在、同じ日本人でいて、
一方は自家用車と電気冷蔵庫の生活をた
のしみ、他方はニコヨンとはなにごとだ
といふ不平が出るの、愚理からぬことだ
ある。

この部落に最近日本から新しい移民が
七十家族ばかり入つた。旧移民とほとん
ど同数だが、両者の間に一種の対立的な空
気が發生してゐる。といふのは新移民の
給与は一日四十三ル(二百四十円)で、旧日
本のニコヨンにあたる。現地人労働者の
三十三ルに比べるといふ方が、アマゾンに
いふと、思わなかつたといふのだ。旧移民
にいわたせると自分たちは、もつと不利な
条件でスタートしたのだ。家が与えられ
食うことに事欠かぬだけでも有難いと思
はねばならぬ。今に経験を積み、土地を
与えられて、われわれの仲間入りができ
るのだから、それ迄辛棒せよといふのだ。
しかしコシウは値がはいといふので、裁
培面積が物すごい勢いで広がつてゐる。
新移民が一人前の農園主になつたころに
は恐らく値段が暴落するであらう。好景
の絶頂にある現在、同じ日本人でいて、
一方は自家用車と電気冷蔵庫の生活をた
のしみ、他方はニコヨンとはなにごとだ
といふ不平が出るの、愚理からぬことだ
ある。



ピンニヨの天井板も到着しました
勉強して差上げます故
御用命 下さい
カリッサ・カロシア
製造並に修繕
富吉木工部
ピンニヨ板より五大ヶ所東上ル

とても便利
棚でも箱でも
バンコでも
すぐできる
の板いろく

五箇之在化しつゝあつたから、新移民の
 新一い血に争つてどびのき、たちまち雨
 者の間に縁組が成立したのだ。これから
 の移民にとつて参考になる話である。
 以上のべたのは、一定の目的地に向つ
 て何十家族、何百家族とまとまって入っ
 て行く「計画移民」の場合であるが、別
 に旧移民の平引で、その親類縁者、使
 用人などが個別的に入つてゆく「まじ
 る移民」というのがある。これはさう目
 立たないが、バカにならぬ数字を示して
 る。それにこの方は先方のうけ入れ体制
 があんとできてゐるので、入選も念入り
 に行われ、成功する率も高い。少くとも
 だまされたとし、この形や戦後、ラジ
 例は少い。この形や戦後、ラジルの
 ども約四千入道く入つてゐるとい
 フラジルのように入道量の計画、移民の
 行われていない國々、例えば、ヤル
 ル、ガイナリ、コロンビア、メキシコ、
 も、この形で相当入つてゐる。(つづく)

五月一日

勞働祭愛哲もなき田舎街

メーデーや未さ広場といふは此処
 先頭の神父メーデーの喇叭吹く

新米

新米やカサリ打振る秤針

新米や値下る見込なるといふ
 新米の結ぶに胡麻の香はよく

きぬ

毒草の太し馬糞をつきあかて
 大地割れして蟻草の出るらし

野良灰る帽にあふるる椰子菌

小鳥

故障バス降り小鳥の森歩く
 小鳥来る赴任する娘を見送り

小鳥来る午後のはと時庭眠る

夜学

夜学子の煙草に思ひし帆かな
 若き日のわれにもありし夜学哉

夜学子のたういにつまぐ音に愛む

秋の雨

棹のチッポオオたもよばしよ秋つり
 エレベーター出て秋雨の門に佇つ

鳩時計鳴りも寂し秋の雨

枯木

大納言

糸音

天鼓

三丘

菊子

春歩

北眠

春歩

水仙子

秋庭

和枝

南天子

梅花

奇峯

秋扇

パワロ

生長の家
 講演會 御案内
 講師 藤田東陽先生
 日時 五月八日夜七時
 場所 バストス産業会館
 生長の家バストス読友綜合相愛会

村松梢風作「近世名勝負物語」
 ちぢぶ すい こ でん

後天木詩傳

柔道元いがの向うを張り
 いよく 剣道元いが
 壯絶！凄絶！血わき肉おとる
 シネバングイランテ

老人のクイズ

次の文章をよんで下さい
 1. 掉二回 五月一日度家面党
 2. 朝今 穀金 香荷 成手 宮美人 世

わかりましたら五月十五日迄にC・P一
 一二番 週報社宛に一紙下さい、正解者
 には東きりん一本宛差上げます

寫真は



ホトトギス

とりましよう
 古田 正史

宅地 (カッタ)

賣ります
 ホリネス教会の下隣 (20 x 40)
 家は建つていません
 ご希望の方は 週報社まで

総領事館 尋ね人 (10)

左記の者現住所知り度いので本人又はその消息存知の方にはC・P三六一聖市

- 一 長崎県人 浦里田次ノブ、由志、多美子
- 二 大杉イナ、繁樹
- 三 三浦種一
- 四 佐藤三郎
- 五 山形県人 結城信作、鈴吉、サカノ
- 六 宮城県人 大田一夫、ハル
- 七 沖鋒県人 城田定松
- 八 島袋重吉
- 九 伊波武栄
- 一〇 サハロ州在住 島田菊雄
- 一一 実藤千恵子
- 一二 元ハラ州パラナクリ 在住 井之盛井一
- 一三 元アルバレス、マシヤート 在住 久保繁作
- 一四 元ウツアジ、マシヤート 在住 藤田ミヤオ
- 一五 元オズワルド、カールス 在住 下田和七
- 一六 元ドミンゴス、カステラ 在住 佐々木忠則
- 一七 元レネストロ 在住 北海道入 鈴木卯三郎

おめでた

新生区屋野良吉氏の二男光雄さんは中央林和雄氏長女下三子さんと四月三十日バストス教会で結婚式をあつ、同夜自宅披露宴を催した。御世話人は同区長福本茂吉氏、ハラベンス

バザール木村久幸一氏二女鈴美さん日ベルマネンテの主入戸田源作氏ツパン藤川佐吉氏序史妻の媒酌でツパン右田三郎氏と結婚の処、五月一日午後十一時イムレトジバストスでカサメント拳式正午から池田ホタルでバストスにお別れの宴を張り夕刻ツパン向いホアビツジン新支婦の御幸福をいのる。

佐藤福太郎さん一家、結婚二重奏といふおめでたい話。

同氏二男さんと若はリンズの軍徳蔵氏の御世話でお嫁さんがマリリアから輿入れる。同姓佐藤市太郎氏の長女光子さんといふ不嫁。

又同氏三女志津子さんの中、中央女子青年団々長を長く勤められた方、今度良縁を得て聖市西山巽氏の二男孝三さんとカトス存在西山千司さん、媒酌人は元バストスが沃山あるからと探しにきて旧友佐藤福さんと出合ひ、くびようしに訪がまとまったという幸運ぶり。去る五月一日盛大な二組の披露宴が同邸に於て催され、パイ福太郎さんすっかりエビス顔で祝詞を受けていた。いとおめでた。

奥パウリスタ 音楽大会

毎夜フリーカ、フリーカと猛練習をやっているのヒバリ楽団の総裁西川誠一氏に入植祭のケイゴでオカと伺いを立てると「いやいや奥パの第五回音楽ですよ、ツパン、オズワルド、クルス、ルセリア、アムマン、チナ、バストスの五楽団で毎年場所を巡回するんだが、今年はずバストスの番ではないけれど、まあ押しつけられた形だ。来る五月廿二日夜です。場所は会館にするか、シネマ館を借りるか未定ですが、決定次第発表します。恰ど四移住地大会とぶつかるので、その方の交歓音楽会もあり、かたがた、どんな風にやるか研究中です」とのこと。プカ好きの老人青年は、あわてなくとも前切符を売りますから場所の心配はありませぬ。

少年野球

来る五月八日午前八時(時間未定)中央カンホで少年野球のこてしらべがある相手は、口線のガララス、これは昨年度の優勝チームというから中々手ごわいはず。もう一チームはソロ線の雄ア、カトルンテからもやってく来て、お手やわらかいなどと言いがわバストスの手の内を調ようとする。どこも中々はりきつてるです。豆選手は前山根、湯井、池田、中川、浅田、中島、横田、松川、原田、藤、相野、細江、水口、今井、山本と十六人居るが、そんな編成で試合にのぞむか、一寸もらしがたい。

尚さくところによると六月五日は流バウリス少年野球バストスで開催するが今の所北セリアより外少年チームがないので、もしかすると聖市大会出場権はバストスへ落ちて来そうである。



見本数十本 週報社にあり

アルト区七組 西忠良

ごらん下さい

選抜野球異聞 八軍玉碎記

四月二十七日、ハラナ河の渡しを越すと、土砂降りとなり、連絡のクルマがやってくる。仕方がないので、ジヤンタ後雨をのびて、ロンドリ、ナに向、たが、テラロヤ、が、のび、この車は坂道にか、るとエ、ンコ、リ、で、その度毎に車上の選手は、総が、リ、で、車の後押しである。ヤ、と、翌朝五時にドロンコになつてロンドリ、ナ着、試合前既に七鞋八苦であつた。二十九日の第一試合は、ソ、ロ、線と組んで、二十日、ソ、ロ、線代表とはい、が、たい、チ、ム、の内、七、回、日、毎、社、主、催、選、抜、野、球、出、場、チ、ム、の、内、は、ソ、ロ、線代表とはい、が、たい、チ、ム、の内、であつた。オ、リ、ン、ピ、ョ、ス、チ、ム、が、主、体、となつて出場した。その由であるが、ソ、ロ、線、を、の、こ、いて、は、他、は、何、れ、も、実、力、伯、仲、で、ス、ド、エ、ス、テ、(聖南)セントラルなど、新、チ、ム、に、拘、ら、ず、中、々、凄、い、腕、前、で、あ、る、チ、ム、に、二、日、目、の、八、軍、の、対、手、は、で、き、れ、ば、中、史、線、か、サ、ン、パ、ウ、ナ、と、ぶ、つ、か、つ、て、い、た、が、ク、ジ、で、ハラナとぶつ、か、つ、て、い、た、が、ハラナは、昨、年、の、優、勝、チ、ム、で、も、あ、り、恐、い、底、力、を、も、つ、て、い、る、の、で、本、年、の、ソ、ロ、線、の、実、力、を、以、て、し、て、は、必、勝、は、期、し、が、た、い、そ、こ、で、選、手、を、輪、に、し、て、玉、碎、戦、法、を、と、る、旨、を、伝、へ、た。勝、敗、を、度、外、視、し、て、ぶ、つ、か、ら、う、各、自、の、も、つ、て、い、る、全、力、を、ソ、ン、ム、に、使、つ、て、た、と、え、ま、け、て、も、悔、い、の、な、い、試、合、を、や、ら、う、と、決、べ、し、た。

結果から云うと、又、対、ノ、の、スコアだから、予、断、し、た、と、う、り、い、い、敗、け、方、で、大、会、随、一、の、名、試、合、と、い、え、な、い、ま、だ、も、ソ、ロ、線、と、い、て、は、全、力、を、拵、揮、し、た、試、合、だ、つ、た、と、思、う。

ソ、ロ、線、の、大、原、君、は、実、に、よ、く、投、け、た。戦、前の、予、想、で、は、或、は、乱、打、を、浴、び、る、か、と、も、案、じ、ら、れ、た、が、大、原、よ、く、ハラナ、の、打、棒、を、押、え、て、ヒ、ッ、ト、を、許、さ、ず、打、た、れ、て、も、身、前、よ、く、活躍、し、外、野、へ、の、フ、ラ、イ、は、必、ず、セ、ン、タ、

「や喉、い、と、め、る、策、戦、差、功、し、て、渡、辺、君、小、柄、の、身、体、を、リ、ス、の、如、く、前、者、左、右、に、駆、り、ま、わ、つ、て、横、転、逆、転、の、美、技、を、演、じ、満、場、の、拍、手、を、あ、び、る、こ、と、数、回、な、る、か、を、知、ら、な、か、つ、た。

渡、辺、君、も、よ、く、身、つ、つ、て、ソ、ロ、線、の、守、備、の、鉄、壁、を、呼、び、し、た。守、越、君、は、前、々、夜、雨、の、中、で、カ、ミ、ニ、オ、ン、を、押、し、て、い、る、内、左、足、を、負、傷、し、試、合、中、こ、れ、が、痛、ん、で、た、ま、う、ぬ、の、を、い、っ、と、齒、を、く、い、し、ほ、つ、て、我、慢、し、て、い、る、の、を、見、る、と、思、は、ず、涙、が、出、る。ス、ホ、ッ、精、神、の、旺、盛、な、こ、と、お、い、大、丈、ま、が、休、め、よ、し、と、い、つ、て、も、笑、つ、て、休、ま、な、い。

ハラナ軍も、特、級、小、柄、投、手、を、立、て、て、ソ、ロ、線、の、打、棒、を、封、じ、試、合、は、こ、こ、に、大、投、手、戦、と、な、り、一、球、一、投、精、魂、を、つ、く、り、て、満、場、を、湧、か、せ、た。

八、軍、は、敗、れ、た、が、選、手、の、顔、も、心、も、は、れ、れ、た、と、い、た。全、精、力、を、こ、の、一、戦、に、使、い、は、た、し、て、疲、勞、を、快、く、味、つ、た。そ、の、あ、と、三、位、決、定、戦、で、八、軍、は、セ、ン、ト、ラ、ル、軍、と、戦、つ、た、が、た、つ、た、一、人、の、投、手、大、原、君、の、球、力、と、ミ、に、底、力、を、失、つ、て、二、点、の、差、で、敗、れ、た。セ、ン、ト、ラ、ル、軍、は、前、日、ノ、ロ、エ、ス、テ、軍、を、破、つ、て、我、を、よ、く、し、て、い、た、こ、ろ、で、あ、る。同、軍、に、は、先、日、迫、コ、チ、ヤ、バ、ス、ト、ス、倉、庫、に、い、た、佐、伯、時、哉、の、姿、も、見、え、た。

五月一日は、優、勝、戦、サ、ン、パ、ウ、ナ、対、ハラナ軍、の、一、戦、を、見、物、し、た。サ、ン、パ、ウ、ナ、軍、は、バ、ス、ト、ス、出、身、者、が、多、い。(次、頁、へ、つ、つ、く)

業務拡張の爲め左記へ
いてん致しました

サシ戸田美容院のあとへ



友谷洋服店

高級洋服
調製所

アネモール街

マルカ・フリプスは
世界一

フリプス印
ラジオ
フォゴ

東エツオ
事務所

スリフス代理店 ヒガシ・ウイトリオ

スリフス・スリフスは五月より新モデル
EVEREADY印 ラジオ用ヒリア
LAMPADAS
二ニロホルト 四〇・六〇・一〇〇・二〇〇 燭光
アルセント 四〇・六〇ワット
六ホルト 一五ワット
いろいろあります 市用命下さい

草原、伊藤、渡辺、高橋、など皆バスターを出
身者だし、松田、武田、などペテラーノを揃え
谷垣、コトキ、三角、カントク、の陣容である。
之に對する、パラナ軍は、元々エテの本田
（バートン）植氏地より参加、元ビラマキの中野
文部、岡田、名一壘手、木村、要一郎、のペテラ
ン揃いに、木村、監督を配して、パラナ先攻
五回、進は完全な投手戦であるが、パラナ
必当主義に出、毎回走者をあすすが、十軍清
投手が、ツキリ押さえて、びくともしせず、六
回、一軍、一点をものするが、見えぬが、打
に、終り、九回、表、ハラナ、木村、二三回、秘
キ、これ、当然、死んだら、と思つたが、不思議
に、生き、一寸、サリ、したが、次、打者、ツキ
す、遂に、捕、回、戦、に入、り、また、兩、軍、〇×〇
である、と、う、十一、回、に、劇、的、的、破、破、が
ナ、投、手、で、ある、満、場、秘、立、ち、の、声、援、に、も、か
、わ、ら、ず、、ツ、一、エ、ン、ド、ツ、一、、指、と、野、球、小
、説、を、の、ま、の、通、追、し、た、シ、ン、と、ある、情
、投、手、は、一、寸、ゆ、る、め、の、カ、ー、を、換、り、た、カ
、ラ、を、振、つ、て、三、振、が、ス、リ、一、ボ、ル、が、そ、の
、一、瞬、小、林、は、揃、ふ、よ、う、に、バ、ツ、ト、を、振、つ、た
、カ、ー、と、轟、け、な、バ、ツ、キ、ン、タ、白、球、は、大
、孤、を、捕、り、テ、ラ、イ、ト、上、を、オ、ー、バ、ー、シ、ン、約、六
、十、米、の、外、野、側、の、根、を、超、え、る、大、ホ、ム、ラン
、と、な、つ、た、一、事、休、す、一、拳、に、四、点、を、と、ら
、れ、その、裏、で、サ、軍、必、死、に、攻、め、た、が、及、ば
、な、か、つ、た、
、実、に、見、事、な、試、合、で、あ、つ、た、技、術、的、に、見
、て、も、頭、腦、的、に、見、て、も、往、年、の、比、は、は、る、く
、ア、ラ、ジ、ル、野、球、と、い、く、こ、こ、近、の、び、た、と、思
、は、れ、る、幾、多、の、名、場、面、が、あ、り、致、え、ら、れ、る
、は、る、多、か、つ、た、
、力、量、は、伯、仲、で、あ、ろ、う、が、パ、ラ、ナ、に、打、棒
、の、長、が、あ、り、判、定、勝、と、い、う、も、の、が、あ、る、な
、ら、ば、パ、ラ、ナ、の、指、し、氣、味、は、認、め、ら、れ、る、と
、あ、ろ、う、。戦、球、に、は、力、の、外、に、球、速、と、い、う、一
、の、イ、ン、ス、ピ、レ、ー、シ、ョ、ン、の、様、な、も、の、が、あ、る、
、運、と、い、い、さ、る、に、は、惜、し、い、球、に、魂、が、の、り
、う、つ、る、と、い、も、形、容、す、る、が、い、つ、れ、た、一、オ
、も、その、イ、ゴ、味、は、味、つ、て、も、味、つ、て、も、の、さ
、ぬ、妙、味、で、あ、る、

建築請負と
井戸堀り
左記へ御用命下さい
スイス、ネノ、ペン、ス、口、街、角
ペン、ソ、ン、フ、ラ、ジ、レ、イ、日、内
川、畑

建築物 土質 却
養蚕室 二棟 三三×七米
材料は殆んど製材ものです
住宅 一棟 木造
一つづいでも、まとのでも商談致す
カスカッタ一組
磯野 武男

来る五月九日夜七時
バスター産業会館に於て
殺藏禪戒師の
法話 ハワイのお話があります
先考者慰霊祭を行います
殺藏師はハワイ・ヒロ市才大正寺の
住職です
来る六月に曹洞宗(禪宗)大本山より
高階親下御来伯に於るので、
その準備のため、前記殺藏師が一足
先に参られたのであります
宗派宗門の別なく
御出かけ下さい(為めに成るお話し)

五月八日は各戸別希望者に法事を
して下さいます。世話人へ御申下下さい
菅原 再治 及び
小林 平志近

お 願 い
五四年度及それ以前の誌代未納の者は
なる重急はまねいさい 週報社

たんようある
たねものや
植木商店